

都市みらい通信

IFUD LETTER

Institute for Future Urban Development

平成15年4月

(財)都市みらい推進機構

- 理事長の選任
松原青美理事長を選任
- 都市みらいカレンダー
・「自治体総合フェア2003」に財団ブース
出展
- まちづくり情報
新潟県立新発田病院・リウマチセンター
の基本設計概要について
- 平成14年度新規加入賛助会員について
- 都市再生研究会の活動状況
その構成と検討内容などについて

平成15年4月30日

□理事長の選任

松原青美 理事長を選任

さる4月9日(水)第32回理事会が当財団会議室にて開催されました。新理事長は理事の互選により、財団法人 民間都市開発推進機構理事長の松原青美(まつばら せいび)氏が当財団の理事長に選任されました。

また、評議員などの委嘱、賛助会員加入の承認等の議案について審議し、いずれも原案どおり議決されました。



[松原 新理事長の略歴紹介]

昭和58年 建設省都市局長、昭和59年 建設大臣官房総務審議官

平成2年 首都高速道路公団理事長、平成6年 社団法人日本建設業団体連合会副会長

平成9年 財団法人民間都市開発推進機構理事長、現在に至る

□まちづくり情報

当財団では、平成13年度より、新発田市で実施されている新発田駅前地区のまちづくりのお手伝いをしています。当地区では中心市街地の活性化を目指し、「まちづくり総合支援事業」を活用した総合的なまちづくりが行われております。新潟県立新発田病院の駅前移転にあわせて、土地画整理事業をはじめとした各種事業が展開されており、都市みらい通信(平成14年10月号)に引き続き、その後の状況をお知らせします。

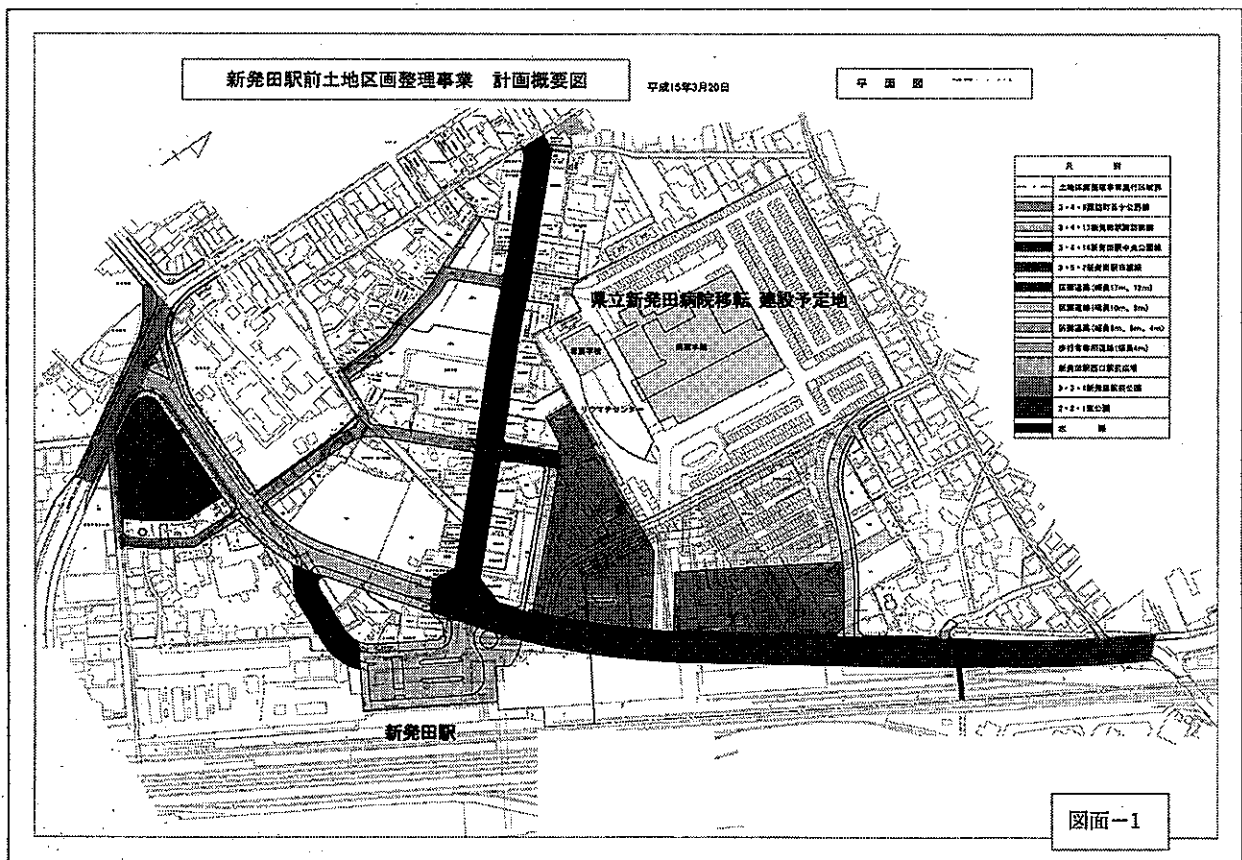
(開発調査部 まちづくり支援室 川内正史)

新潟県立新発田病院・リウマチセンターの基本設計概要について

新発田駅前地区の開発において、新発田駅前土地区画整理事業区域に隣接して建設予定である県立新発田病院の基本設計概要が3月18日に新潟県から発表され、駅前地区の中心的存在となる病院の全貌がみえてきました。駅前に地域共生型の病院を配置した整備計画がその実現に向けていよいよ本格化してきました。ここでは、駅前地区整備の核となる県立病院の基本設計概要について報告します。

病院本部位置：新発田駅北北西300m 駅前周辺整備：土地区画整理事業（11.4ha）

（図面-1 参照）

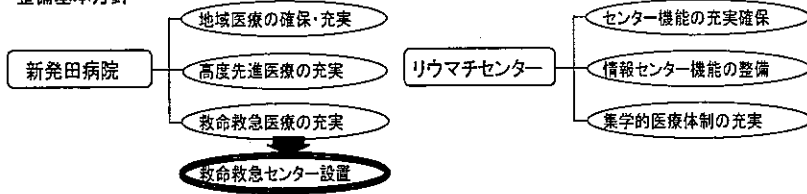


新発田市まちづくり総合支援事業要素事業

- ①新発田駅前土地区画整理事業（新発田市施行、面積11.4ha）
- ②都市計画道路中央町緑町線の整備（延長535m、幅員16m）
- ③新発田中央公園の整備（面積11.4ha）
- ④市街地広場地区の整備（西公園、外ヶ輪公園、東公園、新発田駅前公園、憩いの広場）
- ⑤地域交流センターの建設（面積1.0ha）
- ⑥街なみ環境整備事業（面積36.2ha）
- ⑦交通バリアフリー法に基づく基本構想に係る重点整備（面積約3㎦）

新病院概要

1 整備基本方針



2 設計理念

- (1) 救命救急・高度先進医療の充実……急性期医療に対応した高機能病院
- (2) 患者アメニティとプライバシーに配慮……患者の視点を大切に病院
- (3) 医療システムの充実・災害拠点病院……安全で信頼性が高く、災害時にも機能を発揮できる病院
- (4) 短動線で高利便化……効率的運用が可能でスタッフが活き活きと働ける病院
- (5) 地域医療の確保と連携……地域と共に歩む地域共生型の病院
- (6) ユニバーサルデザイン(UD)採用……積極的なUD採用、患者・職員・地域住民からの意見聴取

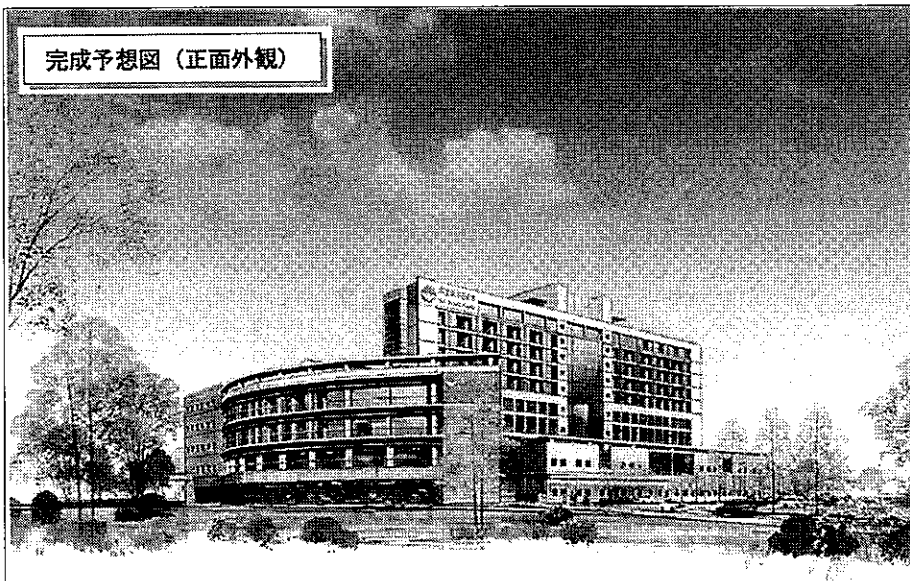
病院の主な機能

	現 在	新
新発田病院	救命救急医療 ○救急告示(第2次救急圏番参加) 3次救急は新潟市民病院に依存	・救命救急センターを設置します。
	病 床 数 ○一般 450床 ○精神 50床 ○感染症 8床 ○病棟数 10病棟	・一般 405床(NICUも含む) ・精神 45床 ・感染症 8床 ・救命救急 20床 ・病棟数 10病棟(一般9、精神1)+救命救急
	診 療 科 目 ○18科 内科・循環器科・小児科・外科・整形外科・産婦人科・眼科・耳鼻咽喉科・皮膚科・泌尿器科・精神科・神経内科・放射線科・脳神経外科・産科・呼吸器外科・心臓血管外科・リハビリテーション科	・19科 現在の診療科に口腔外科を追加します。
	連携	
リウマチセンター	リウマチ医療 ○連携病院(リウマチセンター・院内連携)	・リウマチセンター独立した医療機関となります。
	機 能 ○リウマチ専門病院 ○臨床研修	・専門病院を総合病院に併設 合併症や高度な手術に対応します。 ・情報センター機能整備 リウマチ診療情報の連携、協力病院との連携を行います。
	病 床 数 ○一般リウマチ科、内科、整形外科 100床 ○回復期リハビリテーション病棟 42床	・リウマチ病棟 50床 ・回復期リハビリテーション病棟 48床
	診 療 科 目 ○4科 内科、整形外科、リウマチ科、リハビリテーション科	・2科 リウマチ科・リハビリテーション科

病院構成図

新発田病院		東屋ラウンジ	11F
地上11階 高さ53.5m	10A(精神科病棟)		10F
9B(脳外科・内科・神経内科病棟)	9A(整形外科・麻酔科病棟)		9F
8B(泌尿器科・耳鼻咽喉科・口腔外科・皮膚科病棟)	8A(外科・感染症・消化器内科病棟)		8F
7B(胸外科・内科病棟)	7A(内科病棟)		7F
6B(産婦人科・外科(乳癌)病棟)	6A(NICU・ICU・小児(整形外科)・眼科病棟)		6F
管理・医局・研修・調査・会議室			
5F			
在宅・調査・実習			
調理・情報教室・図書	リウマチ病棟	連絡通路	手術 4A(循環器病棟)
演習室・教室	回復期リハビリ病棟	連絡通路	検査・リハビリ・人工透析・中央材料・SPD・MEセンター・ホテルセクション (中央材料) (SPD)
管理部門・演習室	管理・医局・研究・食堂	ホスピタルモール	外来・放射線・検査・内視鏡・検査室 (検査)
放射線・検査・外来・薬剤・医事・リハビリ		ショップ	救命救急・放射線(応急処置)

完成予想図 (正面外観)



(寄稿：新発田市地域整備部 都市整備課)

■「都市再生研究会」の構成と検討内容等について

平成15年4月23日現在

■基本方針:「都市再生」の骨格的理念の創出を優先し、「大都市圏」を視野に「テイクオフの可能性」「斬新性」「経済効果(産業・都市基盤融合)」等を念頭において、『政策提言』を目指す。
 ■運営体制:戦略的意思決定は、メンバー意向・都市再生本部等の動向・時代状況等を総合的に勘案して、都市みらい推進機構がおこなう。(参加企業:45社)
 WGの幹事に主体性(責任)を持たせた持続可能な運営体制を構築する。(幹事長:NEC)
 *幹事会(主幹事+副幹事):月1回 *ワーキンググループ(WG)会議:原則月1回 *WG幹事会:適宜
 ■活動期間:平成15年1月から平成16年3月まで(中間報告:平成15年6月末 予定)

	A都市像検討	B民間まちづくり促進	C機能導入方策検討	D特定地域事業化検討	大阪部会
主幹事	石川島播磨重工業 竹中工務店	三井不動産 大成建設	東京電力 三菱地所	日本電気 大林組 (新日鉄都市開発)	新日鉄都市開発
副幹事	日本設計 EX都市研究所 日建設計	石本建築事務所 都市開発技術サービス	山下設計 日立製作所	住友金属工業 オリエンタルコンサルタンツ 前田建設工業	(大阪ガス) (大林組) (関西電力)
一般	鉄建建設 戸田建設 西松建設 オオバ 安井建築設計事務所 大阪ガス アジア航測 東京ガス	オリエンタルコンサルタンツ 復建エンジニアリング 福田組 山下設計 五洋建設 富士通総研 パンフィックコンサルタンツ	若築建設 飛鳥建設 鹿島建設 富士電機 アジア航測 東京ガス	三菱電機 鉄建建設 飛鳥建設 東亜建設工業 日本鋼管 安井建築設計事務所 富士電機 川崎重工業 清水建設 パンフィックコンサルタンツ NTTファシリティーズ セガ	住友金属工業 オリエンタルコンサルタンツ 大成建設 前田建設工業 日本電気 日本設計 日立製作所 安井建築設計事務所 東亜建設工業 五洋建設 清水建設 西松建設 鹿島建設 NTTファシリティーズ
検討課題	・国際的にも評価を受ける「夢の都市像」の検討・提案	・まちづくりへの民間企業参入促進要因・阻害要因の分析・明確化と促進方策の考察 *「民間都市開発促進研究会」との連携	・都市機能の集積と求心力を回復させ、持続可能な発展を可能とする方策の提案 ・機能に特色を持たせた「特区」の構成手法・法的規制の緩和	・例示候補地域における検討テーマの設定及び都市再生モデルの提案 ・具体的地域に関する都市再生方策の検討 ①東京臨海SWG ②つくばXP-SWG	近畿圏での都市再生具体策の検討 ①内陸部SWG ②臨海部SWG
検討事項	①都市像に関わる問題点の整理 ②追求する都市イメージの整理 ③都市再生像(都市のあるべき姿)の提案 ④都市再生像の実現に向けた検討	①まちづくりをとりまく状況認識と対象エリアの特性 ②まちづくりに参画する企業分野とビジネスタイプの整理 ③企業進出におけるリスクに把握と問題点の整理 ④民間企業の進出に際しての条件分析と課題の抽出 ⑤既存のまちづくり促進策に関する考察 ⑥民間企業の進出促進支援方策の提案	①都市機能の分類・整理 ②都市再生における都市機能の組入れ方法(特区の構成手法等) ③個別の機能に関わる法的規制の緩和策の考察 ④円滑な機能導入が可能な実現方策(環境づくり等)の提案	①候補地選定のためのアンケート調査の企画 ②候補地リストの基本サーベイ(構想把握・現地ヒアリング調査) ③構造改革特区との関連性調査 ④アジアの特区に関する調査 ⑤例示候補地域の決定 ⑥例示候補地域における検討テーマの設定及び都市再生モデルの提案	①テーマ探索 ②テーマ検討 ③テーマ研究から都市再生モデル構築 ④都市再生モデル提案
活動状況 (予定を含む)					
第1回WG	平成15年1月21日	平成15年2月21日	平成15年1月15日	平成15年1月16日	平成15年1月28日
第2回WG	平成15年2月24日	平成15年4月4日	平成15年2月18日	平成15年2月27日	平成15年2月25日
第3回WG	平成15年3月13日	平成15年5月15日	平成15年3月20日	平成15年4月18日	平成15年3月25日
第4回WG	平成15年4月14日		平成15年5月13日	平成15年6月3日	平成15年5月14日
第5回WG	平成15年5月12日				
【幹事会】	【講演会・勉強会等】				
・第3回幹事会:平成14年12月19日	・日立総合計画研究所勉強会:「北・中・外味」の構想について				平成15年2月18日
・第4回幹事会:平成15年1月31日	・東京都都市計画局講演会:「都市づくりに関する最近の思潮と動向」				平成15年3月5日
・第5回幹事会:平成15年3月5日	・東京都知事本部勉強会:「先行まちづくりプロジェクト」について				平成15年3月26日
・第6回幹事会:平成15年4月23日	・大阪府商工労働部勉強会:「大阪府のカジノ構想について」				平成15年5月14日
・第7回幹事会:平成15年5月23日	・東京都産業労働局勉強会:「東京都観光産業振興プランについて」				平成15年5月
	・大阪市港湾局勉強会:「コスモスクエアのまちづくりについて」				平成15年5月

都市みらいカレンダー

*印のある項目については、他ページに解説があります。

財団

月	日	項 目	備 考
4	9	*理事会	
	9	厚別副都心まちづくり基本構想策定委員会	
	10	大阪駅北地区整備構想策定委員会	
	17	エリアマネジメント調査研究会	第3回
	21	低・未利用地総合アドバイザー会議	第3回
	23	*都市再生研究会 幹事会	第6回
	23	名古屋臨海東部再編調査研究会	
	24	京浜臨海都市再生予定地域調査委員会	第3回
5	21～23	*「自治体総合フェア2003」開催（財団 協賛）	

インテリジェントシティ整備推進協議会

4	3	インテリ協方針会議	
	7	高崎IT都市整備研究会	第6回
	17	高崎IT都市整備研究会 インテリ協委員会議	第4回
	23	横浜市IT産業集積研究会幹事打合	
5	8	幹事会	
	16	監査	
	29	総合委員会	

地方の拠点まちづくり協議会

4	21	運営会議	
	25	幹事会	
5	13	幹事監査	
	29	評議委員会 総会	

都市地下空間活用研究会

4	2	都市交通施設分科会幹事会	
	9	中心市街地と地下街のあり方分科会（幹事会）	
	10	都市交通施設分科会	第8回
	11	大阪分科会拡大幹事会	
	14	中心市街地と地下街のあり方分科会（第WG2）	
	16	中心市街地と地下街のあり方分科会	第23回
	18	企画運営小委員会（H15）	第1回
	23	大阪分科会	第13回
5	23	企画運営委員会（H15）	第1回

「自治体総合フェア2003」に財団ブース出展
— 駅・まちづくりフェア2003のコーナーに出展

来たる5月21日(水)～23日(金)の3日間、標記フェア(展示会)が東京ビックサイト(東京国際展示場)にて開催されます。当財団も活動状況を広報するためブースを設け参加いたします。皆様方にも是非お立ち寄り頂き、財団の諸活動に対するご理解を深めて頂ければ幸いです。

◇主催者：(株)日本経営協会

◇趣旨：地方自治体が抱える各種課題に対して、その解決やヒントを提供する場・官民相互の情報交流の場、の提供

◇フェア実行委員長：石原信雄元内閣官房副長官

◇後援：国土交通省・経済産業省・総務省 他

◇協賛：全国知事会・日本商工会議所・(株)日本観光協会 他
(財)都市みらい推進機構も協賛いたします。

平成14年度 新規加入賛助会員について

新規加入した賛助会員は次のとおりです。

【第一種会員】

(株)都市開発技術サービス

エヌ・ティ・ティ都市開発(株)

東電不動産管理(株)

(株)セガ

東洋アレックス(株)

(株)日本都市総合研究所

三井不動産販売(株)

関西電力(株)

【第二種会員】

協同組合都市設計連合

(株)先端技術産業調査会

(財)区画整理促進機構

(財)日本不動産研究所

(財)阪神高速道路協会

(財)国土計画協会

あとがき

もう二十年近く前になるろうか、フセイン政権が樹立された後にイラクに仕事で行った。当時は外貨の持ち出しの制限、渡航許可の外務大臣への申請、死亡事故にあったときの遺体引取り費用の個人負担の誓約書まで出さされての出張であった。

東京からロンドン経由ミラノに入り、そこでイラク入国ビザ(2週間の期間限定)をとりイラク入りした。ビザの期間を超えて滞在すると不法滞在となり「トラの檻」に入れられ、消息不明となる噂があった。

バクダッド入りは6月の夜であった。空港に降り立って、機外に出たとたん目が見えなくなった。涙が瞬間的に蒸発して曇ったのが原因と後で気付いた。

驚きは個人住宅(資産家)の家の、門扉の錠前、玄関の錠、窓という窓の防犯関係はオール電子化され、その部分だけが突出しており通常の生活様式において、はなはだちぐはぐな感じが否めなかった。

バクダッド市内の国立博物館で見た数々の歴史遺産に感動した。まさしく、中・高で学んだ西洋史の教科書の写真で見たものが実物として展示されていた。

市内は、多分そうであったろう日本で言えば明治維新のような、なんとも例えようのない雑多なエネルギーが街中に満ち満ちて異様な雰囲気であったのを覚えている。

前置きが長くなった。バクダッド市内がピンポイントで破壊されている状況が毎日TVニュースで飛び込んできている。攻撃されたすぐ隣が通常の状態であるのも異様な光景である。戦後日本の都市が焦土化した後の復興とバクダッド市の復興は根本的に異なると思うが、58年前の戦後の日本が再出発したときと同じスタートラインに立つことには変わらない。バクダッド市がどのような姿になるのか、再生後の姿に大変興味がわく。(M.A.)

発行

財団法人 都市みらい推進機構

〒112-0013

東京都文京区音羽2-2-2 アベニュー音羽3階

TEL: 03 (5976) 5860

FAX: 03 (5976) 5858

kikaku@toshimirai.or.jp

<http://www.toshimirai.or.jp>